



かがやけ！ 有年っ子

赤穂市立^{うね}有年小学校

〒678-1186

赤穂市西有年2853番地

Tel 0791-49-2081

発行者 西村 博子

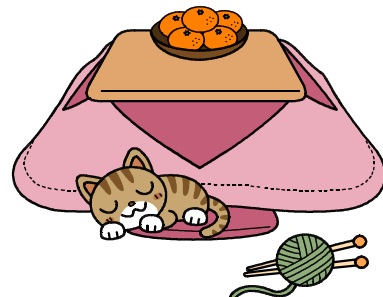
2学期のまとめの月を迎えました～ふり返りを大切に～

12月に入り、今年も残すところ1カ月となりました。
昔から日本では12月を師走（しわす）と呼びます。
師走とは、師（お寺のお坊さん）が経をあげるために
忙しく走り回る姿から発生したという説が有名です。
この時期、誰もが忙しく走り回り、気持ちも焦りがち
になります。

そんな気持ちに添うように、日暮れが早くなりました。

ある調査によると、一年を通して交通事故が最も多
くなるのが10月から12月の間だそうです。理由は、日が
出ている時間も短くなるうえ、年末に向かって気ぜわしくなるためだそうです。

暗くなる前に家に帰るよう心がけたり、暗い中でも目立つように反射材を身につけたり
して、事故防止に努めましょう。



ふり返りを大切に



いよいよ2学期も（今年も）後数日となりました。みなさんにとって、今年は何
んな年でしたか？

まとめの時期には、しっかりと「ふり返し」を行うことが大切です。

「なぜ成功したのかな？」「なぜ失敗したのかな？」とその原因を考えることで、
次に同じ失敗をすることはなくなるでしょうし、成功に向けて自分なりに工夫する
こともできます。

ふり返しをすることで、成果と課題を整理することで、自然と次の目標も見えて
きます。区切りの時期に一度立ち止まり、ふり返しを行うことは、ステップアップ
に必要なのです。12月はそれを行う絶好の機会です。

子どもたちの可能性を大切に～誉めて自信をもたせることから～

12月の全校朝会で、作品展やスポーツ大会、各種コンクールなどで、多くの子
どもたちを表彰しました。いろいろな分野で有年っ子たちは大活躍でした。

名前を呼ばれると、大きな声で返事をする子、恥ずかしそうな子など様子はさま
ざまですが、どの子も笑顔で、賞状を渡す私までうれしくなりました。そんな友だ
ちに、最後まで温かい拍手を送ってくれた子どもたちの姿もうれしかったです。

子どもたちの力や可能性は無限です。その力や可能性を見つけ、引き出し、チャ
レンジできる機会を作ることが教師や保護者の役割といえます。自分のよさを見つ
け、自信をもつことは、やる気につながります。

そのためにも、子どもたちの些細な変化や言動を捉え、具体的に誉めていくこと
が大切です。誉めるタイミングをのがさず、わかりやすく子どもたちに伝えること
を心がけたいと思います。

やる気を出して何事にも前向きにあきらめずに挑戦
できる有年っ子になるよう、学校と家庭と地域とで見
守っていきたいですね。



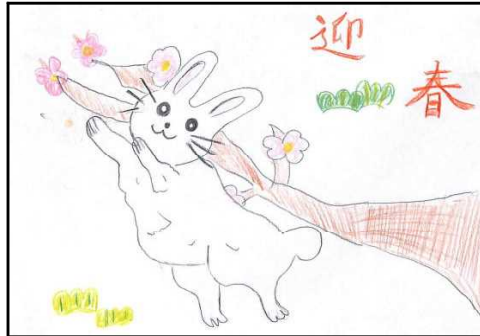
絵馬づくりに挑戦中！

6年生を中心に、東有年八幡神社に奉納する絵馬づくりに挑戦しています。

まず、6年生からイラスト案を募り、桑原さんの作品が選ばれました。コンパネ3枚分の大きな絵に拡大し、下書き、色塗りと進めていきます。

6年生が手際よく作業をすすめる姿は楽しそうです。

この後、全校児童が筆を加えて完成させる予定です。



6年桑原さんが描いた原画

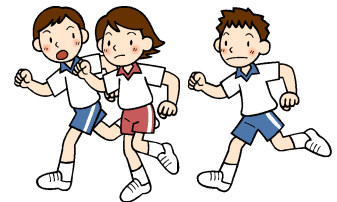


6年生集中して作業中！

業間マラソンがんばっています！

12月に入り、寒さが一段と厳しくなってきましたが、子どもたちは、業間マラソンをがんばっています。

寒さに負けず、自分のペースで走ることで、丈夫な体とやり遂げる心の強さが育っています。「今日はこの前よりたくさん走れた！」「まだまだ走れるぞ！」とやる気いっぱいの子どもたち。1月末のマラソン記録会に向けて、体と心のパワーを蓄えています！（有年幼稚園の子どもたちも一緒にがんばっています！）



※感染症対策を徹底して実施しています

2学期の「あゆみ」について

終業式に、担任より2学期の成績表「あゆみ」を子どもたちに手渡します。

子どもたちにとっては、ときどき、わくわくの瞬間でしょう。

1学期は、個別懇談会で子どもたちの学校でのがんばりや成長の様子、これからの課題等についてお話しさせていただきました。

2学期は、個別の面談時間を設けませんので、「あゆみ」の中の「所見欄」に、子どもたちの様子を記載させていただきます。

これまでの所見欄は、「敬体（～でした。～できました。等）」で表記しておりましたが、本年度からは、「常体（～していた。～できた。等）」での表記となります。

担任や専科教員が捉えた子どもたちの様子を短い文章でわかりやすくお伝えします。

何卒、ご了承のほど、よろしくお願いします。

